

令和8年度 国語科「 論理国語 」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・3年・1～7組 国際人文科・3年・8組
教科書	高等学校 論理国語（第一学習社）	副教材等	国語便覧（浜島書店） 力をつける文学読解Plus(数研出版)

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。	評論	自他の「間あい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。</li> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。</li> <li>・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。</li> <li>・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告
5	具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する日本語の特徴を理解する。	評論	「私」中心の日本語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から筆者の問題意識や執筆意図を読み取り、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
	筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。	評論	日本人の「自然」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から筆者の問題意識や執筆意図を読み取り、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	
6	筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。	評論	中間考査 手の変幻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『「欠落」や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品』について、調査したことをまとめたり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告
	物語に描かれた人間と動物との関わりについて、筆者の主張とそれを支える根拠の關係に着目して理解する。	評論	越境する動物がもたらす贈り物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</li> <li>・『「異類婚姻譚」で描かれる『悲劇』』について、調査したことをまとめたり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
7	推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。	評論	推論とは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。</li> <li>・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。</li> </ul>	
			期末考査		
9	推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。	評論	帰納法のワナ—— 一般化に対する疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。</li> <li>・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告
	アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。	評論	働かないアリに意義がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
10	AI（人工知能）の発展がもたらす社会と法の関係の変化を把握し、今日的な問題意識を持つ。	評論	AI時代の社会と法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの発展がもたらす社会と法の関係の変化について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
			中間考査		

11	動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。	評論	なぜ多様性が必要か	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</li> <li>「生物多様性が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
	生体認証技術の持つ課題を文脈から把握し、それが現代社会に投げかける意味について考えを深める。	評論	生体認証技術の発展と未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>生体認証技術の持つ課題について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	
12	情報の分析に基づく論理展開と対比構造を把握し、将来の社会のあり方を構想する広い視野を培う。	評論	コミュニティ空間としての都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の社会のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
1	一般の開化と日本の開化との違いを整理しながら筆者の主張を捉え、自分に照らして考えを深める。	評論	現代日本の開化	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	評論	「第二の身体」としてのメディアと技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身近なメディアがどのような「第二の身体」として機能しているかを考える。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	評論	対話の意味	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> <li>関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。</li> </ul>	

### 3 評価の観点

知識・技能	語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	<b>【話す・聞く能力】</b> 発言と傾聴を率先して行う。文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現の仕方等について自分の考えを話せる。 <b>【書く能力】</b> 文体や修辭などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲の技術を身につけている。自分の意見や感想を文章にする。 <b>【読む能力】</b> 黙読・音読をしっかりと行う。精読を心掛け、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。
主体的に学習に取り組む態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。授業に必要なもの（教科書・ノート・便覧）は必ず持参し、授業に取り組む。

### 4 評価の方法

「知識技能」、「思考判断表現」、「主体的に取り組む態度」の観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

論理国語は全ての教科の基本となる科目です。課題や作品に積極的かつ主体的に取り組んで感性を磨いてください。

令和8年度 国語科「古典探究」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 選択者
教科書	精選 古典探究 古文編 精選 古典探究 漢文編 (三省堂)	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 完全マスター古典文法(第一学習社) イラストとシーンでおぼえるLOOK @古文単語337 (京都書房)

1 学習の到達目標

- ・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。
- ・ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深める。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	主な説話作品について、文学的な基礎知識を整理し、説話というジャンルの特性について考える。	小野篁、広才のこと	・話の展開や登場人物の心情の変化に気をつけながら説話を 読み、その面白さを味わう。 ・現代語訳して、機知の面白さを味わう。	・小野篁が嵯峨天皇に「え申し候はじ」と言った理由を説明する。 ・「帝ほほ笑ませ給ひて、事なくてやみにけり」から読み取れる嵯峨天皇の心情を説明する。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
5	・作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。 ・古語の意味、文語文法(助動詞)、敬語表現を理解し現代語訳する。	徒然草 「花は盛りに」	・古文を正しく音読し、冒頭文の暗唱をする。 ・登場人物の関係を理解し、その心情の考察し、話し合う。	・筆者は、どのような状態の月・花・恋に魅力を感じているか、説明する。 ・情趣を味わう態度として、筆者はどのような態度を肯定し、どのような態度を否定しているか、まとめる。 ・『玉勝間』「兼好法師が詞のあげつらひ」を読む。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
中間考査					
6	古典の作品や文章の種類とその特徴について進んで理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する。	方丈記 「安元の大火」	文章の構成や展開、表現の特色について評価し、学習課題にそって作品の特徴について話し合う。	・『「安元の大火」参考地図』を参考にして、火がどのように燃え広がったか、確認する。 ・筆者は、火事の中で人々がどのような状態であったと考えているか、まとめる。 ・「すぐれてあじきなくぞ侍る」に表れている筆者の考えについて話し合う。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
7	作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。	竹取物語 「かぐや姫の昇天」	・登場人物の行動と心情を読み取る。 ・物語中の和歌の役割について理解する。 ・物語に描かれた人間のありようを考える。	・かぐや姫が人間世界に送られた事情と、天上世界に戻る理由を、それぞれまとめる。 ・天の羽衣を着ることによって、かぐや姫にどのような変化が起こったか、説明する。 ・天人と人間にはどのような違いがあるか、話し合う。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
期末考査					
9	・作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。 ・古語の意味、文語文法(助動詞)、敬語表現を理解し現代語訳する。	枕草子 「すさまじきもの」	・随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ・用いられた言葉に着目し、内容理解を深める。	・第一段落に示された物事は、なぜ「すさまじきもの」なのかそれぞれ説明する。 ・筆者は、第二段落でどのような「文」を「すさまじきもの」だと述べているか、説明する。 ・第三段落の「除目に司得ぬ人の家」に集まってきた人々の行動と心情の変化について、時間の推移にしたがってまとめる。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
10	作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。	源氏物語 「光源氏の誕生」	・古文を正しく音読し、冒頭文の暗唱をする。 ・古語の意味、文語文法(助動詞)、敬語表現を理解し現代語訳する。 ・登場人物の関係を理解し、その心情の考察し、話し合う。	・帝の桐壺更衣への寵愛は、次の人々にどのように受け止められていったか整理する。 ・帝は「玉の男御子」をどのように思っていたか、「一の御子」への思いと比較して説明する。印象に残った歌を選び、そこに描かれた情景や思いを説明する。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
中間考査					

11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中古女流日記の特徴を理解する。</li> <li>・平安時代の生活様式、結婚等について理解する。</li> <li>・古語の意味、和歌の用法等を理解し現代語訳する。</li> </ul>	更級日記 「あこがれ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。</li> <li>・日記の特徴について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いかばかりかはあやしかりけむを」には作者のどのような思いがこめられているか話し合う。</li> <li>・作者の物語へのあこがれは、どのように描かれているか、行動とともにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認</li> <li>・行動観察</li> <li>・定期査査</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。</li> </ul>	平家物語 「能登殿の最期」	<ul style="list-style-type: none"> <li>『平家物語』が、時代やジャンルを超えて受容されてきた意義について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教経の戦いぶりを、順を追って整理する。</li> <li>・「竜田川の紅葉葉を嵐の吹き散らしたるがごとし。汀に寄する白波も、薄紅にぞなりにける」はどのような状況を表現しているか説明する。</li> <li>・知盛が「見るべきほどのことは見つ。今が自害せん」と言った時の心情を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認</li> <li>・行動観察</li> <li>・定期査査</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色についての理解や、書き手の考えや目的、意図を捉える力を養う。</li> </ul>	和歌十六首	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に出して読み、和歌・連歌・俳諧のリズムを味わう。</li> <li>・和歌・連歌・俳諧に表現された情景や心情を読み取る。</li> <li>・創作活動をとし、古典の韻文に対する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの歌、句切れやリズムに注意して朗読する。</li> <li>・それぞれの歌には、どのような景物や心情が詠まれているか説明する。</li> <li>・十六首の中から一首を選び、鑑賞文を書く。</li> <li>・『古今和歌集仮名序』『やまと歌は』を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認</li> <li>・行動観察</li> <li>・定期査査</li> </ul>
2		古事記		<ul style="list-style-type: none"> <li>・倭建は、どこでどのような行動をとっているか整理する。</li> </ul>	
3		倭建の東征		<ul style="list-style-type: none"> <li>・能須野で歌われた四種の歌謡に表れた心情を説明する。</li> </ul>	
期末査査					

### 3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</li> </ul>
思考・判断・表現	<b>【読む能力】</b> 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
主体的に学習に取り組む態度	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について進んで理解を深め、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって古典を学ぶ意味について話し合おうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価基準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>まずは、日々の授業を大切に、積極的に参加して欲しいと思います。2年次の選択によっては、1年ぶりの「古典」ということで、不安を感じている人もいるかもしれません。しかし、授業での解説をしっかりと理解し、課題に丁寧に取り組めば、何の心配もありません。また、授業をきっかけに古典作品への興味関心を高め、積極的に書物に親しんで欲しいと思います。</p>
--

令和8年度 国語科「国語研究」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科3年1268組 (選択者)
教科書	精選 古典探究 古文編・漢文編 (三省堂)	副教材等	イラストとシーンでおぼえるL O O K @古文単語337 (京都書房) 完全マスター 古典文法 (第一学習社)

1 学習の到達目標

2年次までの授業で培ってきた基礎力に基づいて、さらに内容や知識等を深め、作品や言葉の総合的な理解と表現力の向上を図る。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4          5	・物語に描かれたできごとの背景を理解し、登場人物の行動と心情を読み取る力	物語	「大鏡」 三舟の才	・古文の基礎事項（語句の意味・文法・常識）を確認しながら、内容を捉え、話の構成や展開を読み取る。 ・敬語の用法を理解しながら、物語を組み立てる人間関係の一端を整理し、登場人物の心情を的確に読み取る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
6          7	・当時の宮中の様子や筆者の立場を理解する力 ・随筆に表現された筆者の価値観や心情を読み取る力	随筆	「枕草子」 二月つごもりごろに       期末考査	・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自らの感性を磨く。 ・宮廷生活の機微に触れるとともに、当時の貴族の生活や教養についての認識を深める。 ・敬語の用法を確認し、話の構成や展開、登場人物の心情を的確に読み取る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
9          10	・作品の内容を理解し、小話のもつ面白さを読み取る力 ・表現の工夫を理解し、自分の言葉を豊かにする力	小話	不死之薬	・「中射之士」の「王」に対する弁明の内容を、二点に分けて説明する。・「中射之士」が言った「可食乎。」の「可」と「謁者」が言った「可。」の「可」との違いをふまえて、この話のおもしろさについて話し合う。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査

11	・和歌の解釈や漢詩の引用についての考察をとおして、登場人物の心情を的確に読み取る力	物語	「源氏物語」 物の怪の出現	・六条御息所は自分の中にどのような変化を感じて悩んでいるかまとめる。 ・「大将に聞こゆべきことあり」とは、誰がどのようなことを伝えたかったか話し合う。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
12			期末考査		
1	・漢文の史伝を読み登場人物の心情を読み取る力	史伝	史記 「四面楚歌」	・漢文訓読の基礎や句形を確認しながら、登場人物の心情を読み取る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出
2					
3					

### 3 評価の観点

知識・技能	伝統的な言語文化及び古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。
思考・判断・表現	【読む能力】 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
主体的に学習に取り組む態度	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や感心を深めようとしている。

### 4 評価の方法

3観点から評価規準に従い、定期考査・授業内テスト等の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢等を鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「国語研究」では古典に特化して、問題演習も行いながら広く、さまざまな作品を読んでいます。まずは読解に必要な基礎事項（語句の意味・文法・古典常識など）を定着させ、自分で古典を読み味わう力をつけていきましょう。その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学びとっていく姿勢で臨むと古典がより面白く感じるようになると思います。

令和8年度 地理歴史科「地理探究」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・3年次・選択者
教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2024（帝国書院）

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第I部 第1章 自然環境	① 地球環境と人間 ② 地形 ③ 気候 ④ 日本の自然環境 ⑤ 地球環境問題	・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題 など提出状況 ・考査の成績
	5				
第1学期	6	第2章 資源と産業	① 農林水産業 ② 食料問題 ③ エネルギー・鉱産資源 ④ 資源・エネルギー問題 ⑤ 工業 ⑥ 第3次産業	・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題 など提出状況 ・考査の成績
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 交通・通信と 観光、貿易	① 交通・通信 ② 観光 ③ 貿易と経済圏	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題 など提出状況 ・考査の成績
	10				
			中間考査		

第2学期	11	第5章 生活文化、 民族・宗教	① 衣食住 ② 民族・宗教と民族問題 ③ 国家の領域と領土問題	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題など提出状況 ・考査の成績
	12	第Ⅱ部 第1章 現代世界の 地域区分	① 地域区分  期末考査	・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解する。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につける。 ・世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	
学期	月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2章 現代世界の 諸地域	① 地域の考察方法 ① 中国 ② 韓国 ③ ASEAN諸国 ④ インド ⑤ 西アジアと中央アジア ⑥ 北アフリカとサハラ以南のアフリカ ⑦ EU諸国 ⑧ ロシア ⑨ アメリカ合衆国 ⑩ ラテンアメリカ ⑪ オーストラリアとニュージーランド	・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。またいくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題など提出状況 ・考査の成績
		第Ⅲ部 第1章 持続可能な 国土像の探究	① 将来の国土の在り方 ② 持続可能な日本の 国土像の探究  学年末考査	・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。	

### 3 評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「地(ち)の理(ことわり)」の通り、地理学は自分の身の周りで何が起きているのか、その原因は何かを突き詰めていく学問です。授業で学習した内容とマスメディアやインターネットなどから得られる情報をリンクさせ、現代世界の様々な出来事の経糸(たていと)と緯糸(よこいと)を見出して特性を知るとともに様々な諸課題の解決方法を一切妥協せずに探っていきましょう。

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択
教科書	日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）	副教材等	図説 日本史通覧（帝国書院）

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
第1学期	4	第I部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼのの展望 歴史資料と原始・古代の展望	1文化の始まり 2農耕社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の形成を考察する。</li> <li>・遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか、多面的・多角的に考察する。</li> <li>・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。</li> <li>・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。</li> <li>・律令にもとづく国内統治体制について理解する。</li> <li>・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。</li> <li>・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。</li> <li>・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。</li> <li>・摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。</li> <li>・地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査		
			①古代社会と海外との交流 ②木簡から古代国家を探る				
	5	第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	1古墳文化の展開 2飛鳥の朝廷				
			1律令国家への道 2平城京の時代 3律令国家の文化 4律令国家の変容				
	6	第II部 中世 第5章 院政と武士の躍進 歴史資料と中世の展望	1院政の始まり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。</li> <li>・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。</li> <li>・資料から適切に読み取った情報をもとに、中世の特色についての仮説を表現して展望する。</li> <li>・鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。</li> <li>・承久の乱にもなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。</li> <li>・モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。</li> <li>・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。</li> <li>・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。</li> <li>・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。</li> <li>・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。</li> <li>・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
			2院政と平氏政権				
7	第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	1鎌倉幕府の成立 2武士の社会					
		3室町幕府の成立 2幕府の衰退と庶民の台頭 3室町文化 4戦国大名の登場					
			中間考査				
			期末考査				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
第2学期	9	第III部 近世 第8章 近世の幕開け 歴史資料と近世の展望	1織豊政権 2桃山文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。</li> <li>・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。</li> <li>・生類憐みの令として知られる一連の法令から、情報を収集して読み取る技能を身につける。</li> <li>・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。</li> <li>・幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。</li> <li>・諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。</li> <li>・全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。</li> <li>・経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。</li> <li>・儒学の特徴を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査		
			生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化				
10	第9章 幕藩体制の成立と展開	1幕藩体制の成立 2幕藩社会の構造					
		3幕政の安定 4経済の発展 5元禄文化					

第2学期			中間考査		
	11	第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 歴史資料と近代・現代の展望 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開	1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 ①五箇条の誓文と国是 ②貿易の変遷からみる日本の近代・現代 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワンントン体制	・幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ・江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。 ・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ・政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 ・第一次世界大戦前後の政治的動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 ・ワンントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。	授業観察 提出課題 定期考査
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	・近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。 ・大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	授業観察 提出課題 定期考査
	2	第17章 高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。 ・冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	
		第18章 激動する世界と日本	1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	・消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。	
	3	現代日本の課題の探究	様々な災害と日本	・2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	歴史の展開に関わる主な事柄について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、様々な資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
思考・判断・表現	歴史の展開に関わる主な事柄の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	歴史の展開に関わる主な事柄について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。□

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

過去のできごとをとりあげるのではなく、それが現代までどのような影響を与えたのかも触れていきます。多種多様なアプローチから、歴史の展開を見ていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも積極的に授業以外の場での活動等も試みて下さい。

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択
教科書	世界史探究『詳説世界史』（山川出版社）	副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。□

- 
- 
- 

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	世界史へのまなざし1 第1部を学ぶ前に	世界史へのまなざし1 第1部を学ぶ前に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の誕生を地球46億年の歴史のなか位置づけて考察する。</li> <li>・人類の進化の過程の概要を理解する。</li> <li>・西アジアの身分・階級・王権・宗教に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする。</li> <li>・オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。</li> <li>・中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。</li> <li>・8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。</li> <li>・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
	5	第1章 文明の成立と古代文明の特質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文明の誕生</li> <li>2 古代オリエント文明とその周辺</li> <li>3 南アジアの古代文明</li> <li>5 南北アメリカ文明</li> </ol>		
	5	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仏教の成立と南アジアの統一国家</li> <li>2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着</li> <li>3 東南アジア世界の形成と展開</li> </ol> <p>中間考査</p>		
第1学期	6	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イラン諸国家の興亡とイラン文明</li> <li>2 キリシヤ人の都市国家</li> <li>3 ローマと地中海支配</li> <li>4 キリスト教の成立と発展</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築くことができた背景や要因を理解している。</li> <li>・バルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</li> <li>・ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・キリスト教の成立の経緯を理解している。</li> <li>・イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。</li> <li>・西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。</li> <li>・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。</li> <li>・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。</li> <li>・ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・各国における、身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
	7	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立</li> <li>2 ヨーロッパ世界の形成</li> </ol> <p>第II部を学ぶ前に</p>		
	7	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イスラーム教の諸地域への伝播</li> <li>2 西アジアの動向</li> </ol>		
第2学期	9	第9章 大交易・大交流の時代	2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。</li> <li>・近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
	10	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オスマン帝国とサファヴィー朝</li> <li>2 ムガル帝国の興隆</li> </ol>		
	10	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ルネサンス</li> <li>2 宗教改革</li> <li>3 主権国家体制の成立</li> <li>4 オランダ・イギリス・フランスの台頭</li> <li>5 北欧・東欧の動向</li> <li>6 科学革命と啓蒙思想</li> </ol>		

第2学期			中間考査		
	11	第12章 産業革命と環大西洋革命	1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	授業観察 提出課題 定期考査
12	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	・ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。 ・19世紀後半にさまざまな国際運動が進化した背景を理解する。 ・アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。 ・19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解する。		
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。	授業観察 提出課題 定期考査
	2	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ・第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。	
	3	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 ・ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・理解，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い，総合的に評価する。□

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

世界史を遠い国で起きた昔の出来事ととらえるのではなく、現在私たちが生きている社会と関連することとしてとらえてください。そして、「今」世界で起きていることは目を向けてください。現在の社会の諸問題と歴史がつながるはずです。

# 令和8年度 地理歴史科「歴史研究」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・3年次・選択者
教科書	日本史探究『詳説日本史』(山川出版社) 世界史探究『詳説世界史』(山川出版社)	副教材等	『図説日本史通覧』帝国書院、『最新世界史図説 タペストリー』帝国書院

## 1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	お茶からみる日本と世界の歴史 史料を取り扱ってみよう 歴史叙述とは何か考えてみよう	・私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 ・私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	①身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 ②身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。
		2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の日本と結びつく世界	①アジアのなかの江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結びつく東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	・江戸時代の日本と世界国々との結び付き ・18世紀清をとりまく国際関係 ・17～18世紀のアジア・アメリカにおける貿易の展開	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	5	2章 欧米諸国における近代化	①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 中間考査	・イギリス革命・アメリカ独立戦争後の政治体制 ・フランス革命による政治・社会の変化のあり方 ・近代社会の形成における産業革命の役割	
		3章 近代化の進展と国民国家形成	①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化	・1848年後のヨーロッパ社会の変化 ・イタリア・ドイツ・ロシアの近代国家形成の展開 ・アメリカ合衆国の国内統一と工業化	①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	7	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡	・19世紀のイスラーム諸国とヨーロッパ諸国の関係 ・ヨーロッパ植民地によるアジアでの植民地形成 ・幕末期の日本と欧米諸国との関係	
		5章 近代化がすすむ日本と東アジア	①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 期末考査	・明治維新期の政治・社会の変化 ・近代化の進展による日本・清・朝鮮それぞれの国際関係の変化 ・日露戦争が国際社会に与えた影響	
第2学期	9	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応	①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結	・ドイツ・ロシアの対外政策の変更とその影響 ・第一次世界大戦における国や人の関わり ・ロシアにおける社会主義政権の誕生過程	①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員や非戦闘員・植民地の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	10	2章 国際協調と大衆社会の広がり	①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 中間考査	・第一次世界大戦後の国際秩序の形成 ・欧米における大衆社のあり方 ・日本の大衆社会の形成	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	3章 近代化の進展と国民国家形成	①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満洲事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍	・世界恐慌の国際協調体制に与えた影響 ・日本の満洲進出とその後の日中関係 ・第二次世界大戦の進展	①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	12	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 期末考査	・第二次世界大戦後の国際体制の形成 ・米ソ対立とヨーロッパの東西分裂 ・占領下の日本と独立回復の過程したのだろうか。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本	①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題	・米ソの緊張と緩和が国際社会に与えた影響 ・日本の高度経済成長を支えた国内外の要因 ・冷戦激化とアジア・アフリカの脱植民地化の展開	①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	2	2章 多極化する世界	①揺らぐアメリカと先進各国の変化 ②「経済大国」日本の模索 ③経済発展に取り組むアジア・南米諸国 ④イスラーム復興と冷戦への影響	・1960～70年代のアメリカが抱えた問題と国際社会 ・1970～80年代の日本が抱えた国内外の問題 ・イラン＝イスラーム革命が世界に与えた影響	
	3	3章 グローバル化のなかの世界と日本	①冷戦の終結と変わる世界構造 ②冷戦の終結が与えた世界への影響 ③超大国アメリカと中東情勢 ④国際環境の変化と日本 ⑤グローバル化による国際社会の変容	・冷戦体制の終結と世界構造の変化 ・アメリカと中東情勢の関係 ・グローバル化の進展による国際社会の変化	

### 3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

歴史を単に過去のできごととしてとりあげるのではなく、多種多様なアプローチをし、それが現代までどのような影響を与えたのかにも触れていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも、授業以外の場で歴史や社会の問題にふれることも試みて下さい。

## 令和8年度 公民「倫理」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次1・2・4・6・7・8組
教科書	高等学校 倫理（第一学習社）	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1編 第1章 人間の心と自己形成 第2章 人間の存在や価値と宗教	1 青年期の課題と自己形成	・青年期の課題を踏まえ、人格、感情、認知、発達についての心理学の考え方をもとに、様々な人間の心のあり方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
	5		1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアの思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・キリスト教をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・イスラームをもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> </ul>	
	6	第2章 人間の存在や価値と宗教	4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・儒教などの中国の思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・人生における宗教や芸術のもつ意義について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
7	第3章 人間のあり方と社会	1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・人間は自然をどのように捉えてきたかを理解する。</li> </ul>		
中間考査					
期末考査					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 人間のあり方と社会  第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会契約の思想、人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・社会の発展に関する思想、公共性に関する思想、プラグマティズムなどについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
	10		1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。</li> </ul>	
中間考査					

第2学期	11	第5章 国際社会に 生きる日本人 としての自覚	1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめ と庶民思想 4 西洋思想との 出会い	・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、外来思想の受容との関係を理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、国学や江戸時代の庶民の思想との関係を理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、西洋思想の受容との関係を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出
	12	第2編 第1章 自然や科学技術にかかわる 諸課題と倫理	1 生命の問題と 倫理課題  期末考査	・生命との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2編 第1章 自然や科学技術にかかわる 諸課題と倫理	2 地球環境の問題と 倫理的課題 3 科学技術の進展と 倫理的課題	・地球環境との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 ・科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出
		第2章 社会と文化にかかわる 諸課題と倫理	1 福祉の向上と 倫理的課題 2 文化と宗教の影響 と倫理的課題 3 国際平和と 倫理的課題  学年末考査	・福祉について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 ・文化と宗教について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 ・国際平和について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。	

### 3 評価の観点

知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

倫理という科目は、「世界の見方」を学ぶ科目です。私たちは一人一人が自分の目で物事を見ます。しかし、自分の目以外でみることはできません。倫理を学ぶ意味はここにあります。自分以外の目で見ることにはできなくとも、それを想像すること、伝えること、思いやることができます。それを学ぶのが倫理という科目です。考えることが多い科目ですが、ここで考えたことで、世界をもっと遠くまで見渡せるようになってほしいと思います。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・第三学年・全クラス
教科書	実教出版 最新政治・経済	副教材等	

1 学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。学習において適切な課題を設定し、その課題を追究したり解決に向けて構想したりするための枠組みとなる多様な視点を身につけさせ、課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を促すこと。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第2編1章1 経済活動の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と経済活動</li> <li>希少性と選択</li> <li>効率性と公平性</li> <li>トレードオフ</li> <li>資本主義経済の成立と変容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済活動とはどのように営まれているのだろうか。限りある資金や資源はどのように選択され、配分されていくのだろうか。</li> <li>・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。</li> <li>○資本主義と社会主義はどのように変容しているのか。市場規模の広がりをもとめる市場経済の展望と課題は何か。</li> <li>・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。</li> <li>○3つの経済主体間の経済循環はどのようなものか。市場の効率性と、その限界はどのような点にあるのだろうか。</li> <li>・経済主体を理解する。</li> <li>・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。</li> <li>・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。</li> </ul>	学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査
	5	第2編1章2 経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会主義経済の形成と変容</li> <li>・グローバリゼーションの進展</li> <li>・経済主体と経済循環</li> <li>・市場の働き</li> <li>・市場と競争</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○株式会社のしくみにはどのようなものがあるのか。企業がなすべき社会的責任とは何だろうか。</li> <li>・企業の役割と社会的責任について考える。</li> </ul>	
	6	第2編1章3 経済主体と市場の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の種類</li> <li>・株式会社</li> <li>・企業の変容</li> <li>・企業の社会的責任</li> <li>・GDP/GNI</li> <li>・経済成長と景気変動</li> <li>・フローとストック</li> <li>・豊かさやGDP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済活動の大きさをはかる指標には何があるのか。それぞれの指標は、どう関係しているのだろうか。</li> <li>・NIから三面等価の原則について考える。</li> <li>○経済成長や景気変動の要因とは何か。経済活動の見方であるフローとストックの違いとは何だろうか。</li> <li>・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。</li> <li>○GDPの意味を理解し、持続可能な経済活動に向けた考えを発表する。</li> <li>○身近な物価変動をあげ、どのように生活に影響を及ぼしたか発表する。</li> </ul>	
7	第2編1章4 企業の役割 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融とは</li> <li>・銀行と信用創造</li> <li>・証券会社と保険会社</li> <li>・間接金融と直接金融</li> <li>・金融政策</li> <li>・財政と財政政策</li> <li>・歳入と歳出</li> <li>・租税の種類</li> <li>・財政改革の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済活動における資金の流れとはどのようなものか。直接金融と間接金融の違いは何だろうか。</li> <li>・金融を通じた経済活動の活性化について考える。</li> <li>○日本銀行が実施する金融政策の目的は何か。どのような方法で通貨供給量を調整しているのだろうか。</li> <li>・中央銀行の役割について理解する。</li> <li>○経済活動における財政の役割は何か。歳入の柱である租税は、どのようなしくみになっているのだろうか。</li> <li>・財政の持つ様々な役割について考える。</li> </ul>	学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査	
7	第2編1章5 国民所得	中間考査	期末考査		
7	第2編1章6 経済成長と国民の福祉	小テスト	期末考査		
7	第2編1章7 金融の役割	小テスト	期末考査		
7	第2編1章8 日本銀行の役割	小テスト	期末考査		
7	第2編1章9 財政の役割と租税	小テスト	期末考査		
7	第2編1章10 日本の財政の課題なるほどQ&A	小テスト	期末考査		
7	インフレとデフレの生活影響	小テスト	期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第2編2章1 日本経済の成長と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政危機と財政構造改革</li> <li>・日本経済の復興</li> <li>・安定成長からバブル経済へ</li> <li>・バブル崩壊と長期不況</li> <li>・構造改革と実感なき好景気</li> <li>・中小企業の現状</li> <li>・日本の農業</li> <li>・消費者問題</li> <li>・経済成長と公害</li> <li>・国際政治の成立</li> <li>・国際法</li> <li>・領土問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税者としての立場から租税のあり方について考える。</li> <li>○税制改革とは何か。財政の硬直化が生じる原因とは何か。財政構造改革とはどのような改革なのだろうか。</li> <li>・日本の財政の現状を理解し、これからの財政のあり方を考える。</li> <li>○日本経済は戦後復興をどのようにはたしたのか。1990年代以降の長期不況に対し、どのような対策がとられたのだろうか。</li> <li>・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。</li> <li>・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。</li> </ul>	学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査
	10	第2部 現代の国際政治・国際経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法</li> <li>・領土問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の中小企業の現状と課題は何か。国際化の影響を受ける農業には、どのような農政が必要なのだろうか。</li> <li>・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。</li> <li>○国際社会を構成する要素は何か。国際法とは何か。領土問題の発生にはどのような原因があるのだろうか。</li> <li>・国内政治や国内法との比較で考える。</li> </ul>	
第2学期			中間考査		

	11	第1編1章3 国際連合と国際協力 第1編1章4 こんにちの国際政治 第1編1章5 人種・民族問題 第2編2章1 第二次世界大戦後の国際 経済 第2編2章2 国際経済の動向 第2編2章3 新興国の台頭 第2編2章4 経済のグローバル化とICT でかわる世界経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争の違法化</li> <li>・国際的な人権保証</li> <li>・国際性の変化</li> <li>・国際連盟の設立</li> <li>・冷戦の終結</li> <li>・人種問題の展開</li> <li>・恐怖の均衡</li> <li>・核廃絶をめざして</li> <li>・IMF・GATT体制</li> <li>・地域的経済統合</li> <li>・中国とインド</li> <li>・グローバル化とICT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。</li> <li>・冷戦構造の概要について理解している。</li> <li>・人種問題について、具体例（公民権運動、アパルトヘイト）を踏まえながら理解している。</li> <li>・核抑止論の考え方について理解している。また、安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。</li> <li>・戦後の主権回復と国際社会への復帰について、その経過を理解している。</li> <li>・IMFとGATTに代表される国際経済体制について、その概要を理解している。</li> <li>・FTAやEPAがどのようなものであるのかを理解している。</li> <li>・新興国の中でも、とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。</li> <li>・グローバル化によって人の往来が活発になり、そのなかで共生が課題となっていることを理解している。</li> </ul>	学習態度、提出物、 発表作品、出欠状 況、小テスト、定期 考査
	12		小テスト  期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3 学期	1	第2編2章5 発展途上国の課 題と展望 第2編2章6 地球環境問題、 資源エネルギー 問題  ナビ これだけは知っ ておこう年金制 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノカルチャー経済</li> <li>・UNCTAD</li> <li>・絶対的貧困</li> <li>・大量消費の理由</li> <li>・パリ協定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金制度を知り、将来の資産を増やそう</li> </ul> レポート提出	<p>○南北問題の解決に向け、発展途上国はどのように対応してきたのか。南南問題とはどのようなものだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。</li> </ul> <p>○化石燃料はなぜ大量消費されるのか。大量消費にともなう課題の解決に向け、どのような取り組みが進んでいるのだろうか。</p> <p>○株式投資を行い、資産運用を考えよう。</p> <p>1年間の政治経済で興味を持った事象に関してテーマを挙げ論じる。</p>	学習態度、提出物、 発表作品、出欠状 況、小テスト、定期 考査

### 3 評価の観点

知識・技能	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質・特質および動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見出し、その本質的な特質、望ましい解決の在り方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会生活の実現に向けて、参加・協力する態度を身につけ、人間としての在り方・生き方についての自覚を深めようとする。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に判断し評価する。 評価材料としては、学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査とする。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

政治経済という科目は、基本的な知識・原理・概念を覚えるだけでなく、一人の国民、生活者の立場から、それらが生じた背景や改善のあり方について考えることが、本当の理解や自分の考えを作り上げることにつながります。また、政治・経済の生きた教材は、新聞やニュースなど、身の回りにたくさんあります。日頃から積極的に新聞を読み、ニュースを見て、世の中で起きていることに興味・関心を持つことが重要です。
--

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育 」

単位数	3	学科・学年・学級	国際人文科 3年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

①集団の合意形成に貢献しながら、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。 ②グループで活動する場面で、状況に応じた自己や仲間の役割を見つけることができる。 ③競技の本質をとらえた動きを身につけ、正規のルールに近づけた試合をすることができる。 ④競技会の仕方や審判の方法について理解できる。
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論（三学年次）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</li> <li>ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育理論新聞</li> </ul>
	陸上競技	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち幅跳び</li> <li>ハンドボール投</li> <li>50m走（タイムトライアル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録計測</li> <li>記録計測</li> <li>記録計測</li> </ul>
5 6 7	球技 ①～④から1種目選択します。	①サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・3対1）</li> <li>チーム練習</li> <li>リーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>戦術についての話し合い</li> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5 6 7		②テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>基本的な個人技術（サービス、ストローク、ドロップ、ボレー）</li> <li>実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5 6 7		③バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>基本的な個人技術（サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ）</li> <li>実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5 6 7		④バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを使ったウォーミングアップ</li> <li>チーム練習</li> <li>競技会の仕方についての話し合い</li> <li>作戦についての話し合い</li> <li>競技会</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>

9	体育理論	体育理論 (三学年次)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興のための施策と諸条件</li> <li>・スポーツと環境</li> </ul>	・体育理論新聞
	体づくり運動	体づくり運動 長縄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試しの長縄跳び</li> <li>・クラスの課題発見</li> <li>・目標設定</li> <li>・協力して課題解決</li> <li>・体育祭に向けての作戦</li> <li>・体力の限界に挑戦する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録計測</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> </ul>
10 11 12	球技 ①～④から前期と別の1種目選択 します。	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを使ったウォーミングアップ (リフティング・3対1)</li> <li>・チーム練習</li> <li>・リーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>・戦術についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>
10 11 12		ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチボール</li> <li>トスバッティング</li> <li>守備練習 (シートノック)</li> <li>打撃練習 (実践打撃)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・スキルテスト</li> </ul>
10 11 12		バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを使ったウォーミングアップ (直上パス・3段攻撃)</li> <li>・チーム練習</li> <li>・リーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>・戦術についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>
10 11 12		バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>・基本的な個人技術 (サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ)</li> <li>・実践練習 (シングルス、ダブルス)</li> <li>・戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>

### 3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

### 4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5. 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</li> <li>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</li> <li>③時間を守り集合・整列してください。</li> <li>④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。</li> </ul>
--

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・3年次・選択者
教科書	図説家庭基礎（実教出版）	副教材等	なし

## 1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、住まいに関する知識と技術を総合的に習得させる。家庭や地域の生活課題を主体的に解決する判断力を養い、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。未来へ向かってよりよく生きるための生活の知恵や工夫を体験的な学習活動を交えて学ぶ。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1 学期	4	6章 装う 1節 人の一生と衣服	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な被服</li> <li>被服の成り立ちと着方</li> </ul>	被服の形、色、柄、伝統的な文様について理解し、自分らしく装うことについて学習します。	行動観察 授業プリント
	5	2節 被服材料と管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>*被服構成実習</li> <li>ミシンの直線縫い</li> <li>まつり縫い</li> <li>刺し子</li> <li>アイロンかけ</li> </ul>	実習を通して、ミシンの扱い方、道具の扱い方、まち針の止め方、直線縫い、まつり縫い、アイロンのかけ方などを学習します。	行動観察 授業プリント 作品提出
	6	3章 充実した生涯へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>*車椅子体験実習</li> <li>*介助体験実習</li> </ul>	高齢社会の現状と課題を正しく理解し、高齢者の心身の特徴や介護の必要性について学びます。	行動観察 授業プリント 実習レポート 提出物
	7		期末考査		期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2 学期	9	5章 食べる 1節 人の人生と食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べることと健康</li> <li>*調理実験</li> <li>環境に配慮した食生活</li> <li>*調理実習①</li> <li>*調理実習②</li> <li>*調理実習③</li> <li>加工食品</li> <li>健康増進のための食品</li> </ul>	<p>自分の食生活の実態、生涯の健康と食事の関係を考えます。</p> <p>調理に関しての基礎的な知識と技術を身に付け、環境に配慮した食生活について考えます。</p> <p>調理実習を行い、家族の食事を作ることができるようにします。</p> <p>加工食品を上手に利用するポイントを考えます。</p>	行動観察 授業プリント 実習レポート
	10	2節 栄養と食品 3節 食生活の安全のために 4節 食生活をデザインする			
	11	4章 ともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会保障制度と福祉</li> </ul>	私たちの一生はどのような制度で守られているか理解します。	行動観察 授業プリント
			7章 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と住まい</li> <li>ライフステージと住まい</li> <li>快適で健康な住まい</li> </ul>	<p>気候風土や生活機能に応じた住空間の構成や住居の変遷について理解します。ライフスタイルと住まいのかかわりについて考えます。</p> <p>快適で健康に住まうための住宅設備や管理方法について理解します。</p>
	12		期末考査		期末考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	9章 生活をデザインしよう	・これからの生活を考える	成年として自立した生活を送るためのルールやマナーについて学びます。一人暮らしにかかる費用など、将来の家計について考えます。	行動観察 授業プリント 提出物

### 3 評価の観点

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。定期考査、授業中に使ったプリント、実習作品、提出物の内容、及び学習活動への参加の仕方や態度をもとに、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。 実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。 家庭科では、生活者として自分はどう行動すべきかといった意思決定について授業を通して学んでいきます。 授業中は集中して取り組むこと。作品や提出物が授業内に終わらなければ、昼休みや放課後に取り組んでもらいます。 考査は1学期末、2学期末の2回です。
---

令和8年度 英語科「総合英語Ⅲ」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	国際人文科・3年・8組
教科書	ELEMENT English Communication III (啓林館)	副教材等	ELEMENT III (啓林館) Evergreen 総合英語、ターゲット1900 (旺文社) ELEMENT III English Communication サブノート、大学共通テストリーディング、リスニング (いいずな) 速読英熟語 (Z会)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、社会生活において活用できるようにする。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画											
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					主な評価規準 (評価方法)	
					知	思	能	取	発		書
4	ゆっくり、はっきりと話されたなら、自分の周りで話されている議論を80%程度は理解することができる。	Lesson 1 ～ Lesson 2	・帯活動 (ウォーミングアップ) などを通して、聞く力の向上を目指す ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題
	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM115)		・文を読んで初見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・与えられたキーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く ・授業中のボキャブラリーテスト	知	○	○	○	○	○		
ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりすることができる。簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明したりすることができる。	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動 (ウォームアップ) などを通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	○	12		
身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く ・授業中のライティングテスト		知	○	○	○	○	○	12		
中間 考 査	中間 考 査			知	○	○	○	○	6		
6	ゆっくり、はっきりと話されたなら、自分の周りで話されている議論を80%程度は理解することができる。	Lesson 3 ～ Lesson 4	・帯活動 (ウォーミングアップ) などを通して、聞く力の向上を目指す ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題
	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM115)		・文を読んで初見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・授業中のボキャブラリーテスト	知	○	○	○	○	○		
ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりすることができる。簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明したりすることができる。	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動を通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	○	6		
身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く ・授業中のライティングテスト		知	○	○	○	○	○	9		
期 末 考 査	期 末 考 査			知	○	○	○	○	2		

第2学期学習指導計画											
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					主な評価規準 (評価方法)	
					知	思	能	取	発		書
9	スピーチやインタビューの意見などを聞いて、その人が最も伝えたいことなどを理解することができる。	Lesson 5 ～ Lesson 6	・帯活動 (ウォーミングアップ) などを通して、聞く力の向上を目指す ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題
	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)		・文を読んで初見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・授業中のボキャブラリーテスト	知	○	○	○	○	○		
聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動を通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	○	9		
序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く ・授業中のライティングテスト		知	○	○	○	○	○	6		
中 間 考 査	中 間 考 査			知	○	○	○	○	6		



令和8年度 英語科「ディベート・ディスカッションⅡ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科科・3年・8組
教科書	CROWN Logic and ExpressionⅢ (三省堂)	副教材等	

1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと(やりとり)を中心に、話すこと(発表)、聞くことの領域に設定する目標の実現を目指した指導を通して、知識および技能、思考力・判断力・表現力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、学びに向かう力を育成する。日常的な話題や社会的な話題に関する論題について、使用する語句や文、議論の展開など、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、賛成反対の立場を取った上で論理的に一貫性のある議論を展開することができるようにする。日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、議論の展開など、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)	
				知	思	能	取	発			書
4	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる【表現力育成】スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション ・身近な話題について、自分の意見を伝えることができる【表現力育成】スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション	Topic 1 News 1 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		
				能	○	○	○	○	○		
5	・身近な話題について、形式に沿って論理的に話すことができる ・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。	Topic 2 News 2 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		
				能	○	○	○	○	○		
中間 考查	授業内 考查			知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
思	○	○	○	○	○						
能	○	○	○	○	○						
6	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる【表現力育成】スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション ・身近な話題について、自分の意見を伝えることができる【表現力育成】スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション	Topic 3 News 3~4 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		
				能	○	○	○	○	○		
7	・社会的な話題について、形式に沿って論理的に話すことができる。討論することができる。 ・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。	Topic 3 News 3~4 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		
				能	○	○	○	○	○		
期末 考查	授業内 考查			知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
思	○	○	○	○	○						
能	○	○	○	○	○						

第2学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)	
				知	思	能	取	発			書
9	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる。 ・時事問題について、資料を用いて相手に説明することができる。	Topic 4~5 News 5~6 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		
				能	○	○	○	○	○		
10	・序論・本論・結論で相手に意見を伝える事ができる。 ・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。	Topic 4~5 News 5~6 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		
				能	○	○	○	○	○		
期末 考查	授業内 考查			知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
思	○	○	○	○	○						
能	○	○	○	○	○						

中間 考査	授業内考査			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	スピーチ発表、デリバリー プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
11	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる。	Topic 7~9 News 7~9 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー
	思			○	○	○	○	9	プレゼンテーション	
12	・自分自身について、オーディエンスに向けてスピーチとして発表ができる。			態	○	○	○	○	9	ディスカッション、ディベート
	・序論、本論、結論で相手に意見を伝える事ができる。 ・社会的な話題について自分の意見を伝えることができる。			知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー
	・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。			思	○	○	○	○	9	プレゼンテーション
				態	○	○	○	○	9	ディスカッション、ディベート
期末 考査	授業内考査			知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー
				思	○	○	○	○	9	プレゼンテーション
				態	○	○	○	○	9	ディスカッション、ディベート

第3学期学習指導計画											
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる。	Topic 8 News 10 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○ディベート ○ディスカッション ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー
	思			○	○	○	○	○	9	プレゼンテーション	
2	・身近な話題について、資料を用いて相手に説明することができる。			態	○	○	○	○	9	ディスカッション、ディベート	
	・序論・本論・結論で相手に意見を伝える事ができる。			知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー	
3	・社会的な話題について自分の意見を伝え、相手の意見に反論することができる。			思	○	○	○	○	9	プレゼンテーション	
	・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。			態	○	○	○	○	9	ディスカッション、ディベート	
学年 末 考査	授業内考査			知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、デリバリー	
				思	○	○	○	○	9	プレゼンテーション	
				態	○	○	○	○	9	ディスカッション、ディベート	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	思考判断表現の観点を達成するのに必要な、英語の特徴や決まりに関する事項についての、知識および技能を有している。				
思考・判断・表現	1. 聞いた英語を正しく理解し、それに対して自分の意見や考えを述べることができる。2. 聞いた内容を要約し、相手に耐える事ができる。3. 聞いた内容についてさらに深く調べて、要約と自分の意見を合わせて発表することができる。		1. ペアワークにおいて、相手の発言について短いコメント(Sounds good! など)を即興で伝え合うことができる。2. ペアワークにおいて、相手の発言を即興で要約して、確認し合うことができる。3. ペアワークにおいて、自分の発言を繰り返すなどして、伝え合うことができる。4. ペアワークにおいて、自然なやりとりを続けることができる。	1. 読んだり聞いたりした内容を、事前に準備したキーワードをもとに、相手にわかるように大まかな内容を話すことができる。2. 自分の意見を、理由や例などと共に、一貫性を持って述べることができる。3. 自分や学校生活であれば、事前に準備したキーワードをもとに、話すことができる。	
主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現の観点を達成するために、主体的に学習に取り組んでいる。				

評価の方法	パフォーマンステスト(Interview tests, Speech, Listening test, debate, discussion など)を中心に思考力・判断力・表現力、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度の3観点で評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)	授業での使用言語は英語のみです。教員や友人との会話全て英語で行いましょう。「話す」「聞く」の多い授業です。ペアやグループの中で、コミュニケーションを大切に、お互いによく聞き、よく話す事が英語力向上の秘訣です。話すときは間違いを恐れず、聞き手になったときは相手の言ったことを理解しようとするのが大切です。辞書を毎時間持ってきてください。
--	---

令和8年度 外国語科「 エッセイライティングⅡ 」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	国際人文科 3年 8組
教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Ace (啓林館)	副教材等	Vision Quest English Logic and Expression II Ace WORKBOOK (啓林館)

1 学習の到達目標

英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばす。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発書		
4		Lesson1 Lesson2 Build Up1 Lesson3	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
5	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。			知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
5				知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
中間 考查	中間 考查			知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティング
				態		○				
6	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	Lesson4 Build Up2 Lesson5 Lesson6	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
7				知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
7				知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
期末 考查	期末 考查			知				○	2	文法テスト
				思				○	2	ライティングテスト
				態		○				

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発書		
9	序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Build Up3 Lesson7 Lesson8 Build Up4	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
10				知				○	4	文法テスト
				思				○	4	ライティング・スピーキングテスト
				態		○				
中間 考查	中間 考查			知				○	2	文法テスト
				思				○	2	ライティングテスト
				態		○				

11	序論・本論・結論の段落構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson9 Lesson10 Build Up5 Lesson11	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知	思	態	4	文法テスト
				知	思	態	4	ライティング・スピーキングテスト
				知	思	態	4	授業内観察・提出物
12				知	思	態	4	文法テスト
				知	思	態	4	ライティング・スピーキングテスト
				知	思	態	4	授業内観察・提出物
期末考査				知	思	態	2	文法テスト
				知	思	態	2	ライティングテスト

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	序論・本論・結論の段落構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson12 Build Up6	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知	思	態	4	文法テスト			
				知	思	態	4	ライティング・スピーキングテスト			
				知	思	態	4	授業内観察・提出物			
2				知	思	態					
				知	思	態					
				知	思	態					
3				知	思	態					
				知	思	態					
				知	思	態					
学年末考査				知	思	態	2	文法テスト			
				知	思	態	2	ライティングテスト			

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能			・学習した文法事項を正しく使用することができる。	・学習した文法事項を正しく使用することができる。	・学習した文法事項を正しく使用することができる。
思考・判断・表現			・日常的な話題や社会的な話題について、論理や構成の展開を工夫して伝え合うことができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、段落構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、段落構成を意識し、自分の意見を書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度			・日常的な話題や社会的な話題について、論理や構成の展開を工夫して伝え合おうとしている。	・学習した表現を使用して、自分の意見や考えについて話して伝えようとしている。	・学習した表現を使用して、自分の意見や考えについて書いて伝えようとしている。

評価の方法	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>英語での説得力をつけるために、意見をわかりやすく伝える方法を学びます。そのためには正しい文法で論理的に伝えることが不可欠です。</li> <li>英語は技能教科です。何度も練習して、意見をわかりやすく伝えられるようにしましょう。</li> <li>授業中言えなかった表現は、次こそは言えるよう、メモをとる癖をつけましょう。</li> </ol>
--	---

令和8年度 英語科 「異文化研究」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科・3年次・選択者
教科書	World English 3rd edition Level 3 Student Book, Text Only (CENGAGE COMPANY)	副教材等	

1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した学習を通じて、英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。  
 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を身に付ける。  
 外国の事情や異文化について理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	【聞くこと - 実生活】 映像と実況説明がほとんど重なるならば、出来事や事故を伝えるテレビのニュース番組の要点を理解することができる。 【聞くこと - 授業内】 自然な速度で話される英語であっても、日常的な話題であれば、動画等を見ながら自分が必要とする情報を聞き分けて理解することができる。	Unit 1 ～ Unit 3	【帯活動(ウォームアップ)】 身近な話題、社会的な話題についての簡単な意見交換等 【聞いたたり読んだりした話題の概要把握】 社会的な話題を聞いたたり読んだりして、大まかに内容をとらえる 【聞いたたり読んだりした話題の要約】 社会的な話題を聞いたたり読んだりして、口頭または書くことで大まかな内容を伝える 【理解した内容に基づく意見交換】 グループやペアでディスカッションをする 【パフォーマンステスト】 インタビュー、発表、エッセイライティング等	知	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
5	【読むこと - 実生活】 学生向けに書かれた英字新聞の興味のある記事を読み、大まかに内容を理解することができる。 【読むこと - 授業内】 3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM 150)	Unit 3 ～ Unit 4	授業内考査	知	○	○	○	○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
				思	○	○	○	○			○
				態	○	○	○	○			○
中間 考査	【話すこと(やり取り) - 実生活】 身近な話題についての賛成、反対を、相手の意見を確認しながら、理由と共に述べるることができる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループで、簡単なディスカッションで物事を決めることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で明確に自分の意見や理由を述べるることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 ある程度社会的な話題について、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	Unit 4 ～ Unit 6	授業内考査	知	○	○	○	○	6	・英文読解 ・語彙や文法等	
				思	○	○	○	○			○
				態	○	○	○	○			○
6	【書くこと - 実生活】 高校生向けの新聞や掲示板等に、自分の考えを投稿することができる。 【書くこと - 授業内】 社会的な話題について、序論・本論・結論の paragraph 構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Unit 4 ～ Unit 6	【帯活動(ウォームアップ)】 身近な話題、社会的な話題についての簡単な意見交換等 【聞いたたり読んだりした話題の概要把握】 社会的な話題を聞いたたり読んだりして、大まかに内容をとらえる 【聞いたたり読んだりした話題の要約】 社会的な話題を聞いたたり読んだりして、口頭または書くことで大まかな内容を伝える 【理解した内容に基づく意見交換】 グループやペアでディスカッションをする 【パフォーマンステスト】 インタビュー、発表、エッセイライティング等	知	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
				思	○	○	○	○			○
				態	○	○	○	○			○
7	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で明確に自分の意見や理由を述べるることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 ある程度社会的な話題について、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	Unit 4 ～ Unit 6	授業内考査	知	○	○	○	○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
				思	○	○	○	○			○
				態	○	○	○	○			○
期末 考査	【書くこと - 実生活】 高校生向けの新聞や掲示板等に、自分の考えを投稿することができる。 【書くこと - 授業内】 社会的な話題について、序論・本論・結論の paragraph 構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Unit 4 ～ Unit 6	授業内考査	知	○	○	○	○	6	・英文読解 ・語彙や文法等	
				思	○	○	○	○			○
				態	○	○	○	○			○

第2学期学習指導計画															
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)				
					聞	読	取	発	書						
9	【聞くこと - 実生活】 簡単な内容であれば、観光案内等で説明される歴史や人物について概要を理解することができる。	Unit 7 ～ Unit 9	【帯活動(ウォームアップ)】 身近な話題、社会的な話題についての簡単な意見交換等 【開いたり読んだりした話題の概要把握】 社会的な話題を開いたり読んだりして、大まかに内容をとらえる 【開いたり読んだりした話題の要約】 社会的な話題を開いたり読んだりして、口頭または書くことで大まかな内容を伝える 【理解した内容に基づく意見交換】 グループやペアでディスカッションをする 【パフォーマンステスト】 インタビュー、発表、エッセイライティング等	知	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題				
				思	○	○	○	○	○		・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題				
				態	○	○	○	○	○		・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題				
				10	【聞くこと - 授業内】 社会的・学術的課題であっても、動画等を見ながら、自分が必要とする情報を聞き分けて、理解することができる。 【読むこと - 実生活】 英字新聞を読んで、興味のある記事の概要を理解することができる。 【読むこと - 授業内】 3年生用の教科書の内容や、関連する発展的記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM150)	Unit 9 ～ Unit 10	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的書類を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	知	○	○	○	○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
								思	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
								態	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
中間 考査	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的書類を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	授業内考査						知	○	○	○	○	6	・英文読解 ・語彙や文法等	
								思	○	○	○	○		○	
								態	○	○	○	○		○	
				11	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的書類を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Unit 10 ～ Unit 11	【帯活動(ウォームアップ)】 身近な話題、社会的な話題についての簡単な意見交換等 【開いたり読んだりした話題の概要把握】 社会的な話題を開いたり読んだりして、大まかに内容をとらえる 【開いたり読んだりした話題の要約】 社会的な話題を開いたり読んだりして、口頭または書くことで大まかな内容を伝える 【理解した内容に基づく意見交換】 グループやペアでディスカッションをする 【パフォーマンステスト】 インタビュー、発表、エッセイライティング等	知	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
								思	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
								態	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
12	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的書類を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Unit 11	【帯活動(ウォームアップ)】 身近な話題、社会的な話題についての簡単な意見交換等 【開いたり読んだりした話題の概要把握】 社会的な話題を開いたり読んだりして、大まかに内容をとらえる 【開いたり読んだりした話題の要約】 社会的な話題を開いたり読んだりして、口頭または書くことで大まかな内容を伝える 【理解した内容に基づく意見交換】 グループやペアでディスカッションをする 【パフォーマンステスト】 インタビュー、発表、エッセイライティング等					知	○	○	○	○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
								思	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
								態	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
				期末 考査	期末考査			知	○	○	○	○	6	・英文読解 ・語彙や文法等	
								思	○	○	○	○		○	
								態	○	○	○	○		○	

第3学期学習指導計画															
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)				
					聞	読	取	発	書						
1	2学期と同様	Unit 12	【帯活動(ウォームアップ)】 身近な話題、社会的な話題についての簡単な意見交換等 【開いたり読んだりした話題の概要把握】 社会的な話題を開いたり読んだりして、大まかに内容をとらえる 【開いたり読んだりした話題の要約】 社会的な話題を開いたり読んだりして、口頭または書くことで大まかな内容を伝える 【理解した内容に基づく意見交換】 グループやペアでディスカッションをする 【パフォーマンステスト】 インタビュー、発表、エッセイライティング等	知	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題					
				思	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題				
				態	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題				
				2				知	○	○	○	○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
								思	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
								態	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
3								知	○	○	○	○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
								思	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
								態	○	○	○	○		○	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
				学年 末 考査	授業内考査			知	○	○	○	○	6	・英文読解 ・語彙や文法等	
								思	○	○	○	○		○	
								態	○	○	○	○		○	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて、聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて、読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて、伝え合う技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて、話す技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて、書く技能を身に付けている。
思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりしている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を読んで、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりしている。	日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、要点や意図などを明確にしながらか英語で話し、情報や自分自身の考えなどを伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で話し、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で書き、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	ア 日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。 イ 社会的な話題について、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。	ア 日常的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。 イ 社会的な話題について、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。	ア 日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させようとしている。 イ 社会的な話題について、聞いたことを読んだことを基に、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。	ア 日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えようとしている。 イ 社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えようとしている。	ア 日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく書いて伝えようとしている。 イ 社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく書いて伝えようとしている。

評価の方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業内での活動に、積極的に取り組みましょう。</li> <li>○失敗を恐れず、自分の意見や考えを英語で表現することに挑戦しましょう。</li> <li>○文法や単語の知識は、コミュニケーションの基礎を固めてください。自ら進んで学習しましょう。</li> <li>○自分とは異なる考え方、物の見方との出会いを、楽しみましょう。</li> </ul>
--	--

令和8年度 国際教養科「中国語の言語文化」シラバス

国際人文科

単位数	2 単位	年 次	3 年 次	学科・学年・学級	国際人文科・3年次・選択者
教科書	初めての中国語 すくすく (朝日出版社)			副教材等	なし

1 学習の到達目標

<p>1. 中国語の基礎的な発音を学び、正しい発音を身に付け、ピンインを正しく発音することができる。</p> <p>2. 基本的な日常会話のあいさつや自己紹介をできる。</p>
--

2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「中国語」ってなあに？	中国語概説	中華人民共和国について知る 1 「民族と言語」 2 「中国語」と「普通話」 発音記号であるピンインの理解 中国語のアクセント記号=声調 第一声、第二声、第三声、第四声、軽声	・授業中の態度 ・ペアワーク ・提出物 ・小テスト
5	あいさつ 発音 A. 声調と母音	あいさつ 声調 アクセント 単母音 二重母音 三重母音 3声の変調	a, o, i, u, ü, er ao, ei, ao, ou, ia, ie, ua, uo, ue iao, iou, uai, uei 3声+3声→2声+3声	並行して、簡単なフレーズを練習
		第1学期中間考査	授業時間内実施	
5 6 7	B. 子音 C. 要注意の点 第1課 你好！ (こんにちは)	軽声 鼻母音 -n と -ng 無気音と有気音の区別 舌面音とそり舌音 “不”と“一”の声調変化 あいさつと自己紹介	mā ma / yé ye an, ang / en, eng n と ng の区別 b, p, m, f, d, t, n, l, g, k, h, z, c, s, j, q, x zh, ch, sh, r と er, y, w 名前の聞き方・答え方 Nǐ jiào shén me míng zì? Wǒ jiào A lóng.	並行して、簡単なフレーズを練習
7		第1学期期末考査	考査期間内実施	
9	第2課 你是日本人吗？ (あなたは日本人ですか)	肯定文と否定文 疑問詞 へか、どこ	是 shì (～だ)、不是 bù shì (～ではない) ～吗 ma (～ですか) 哪 nǎ (どこ)	・授業中の態度 ・ペアワーク ・提出物 ・小テスト
10	第3課 你家里几口人？ (あなたは何人家族ですか)	「ある、いる」と「ない、いない」 疑問詞 いくつ 数字 家族の紹介	「有」 yǒu と「没有」 méi yǒu  「几」 jǐ 1～10まで Bàba, mama, wǒ, gēge, jiějie, mèi mei, dì, dì	・授業中の態度 ・ペアワーク ・提出物 ・小テスト
		第2学期中間考査	授業時間内実施	
10 11	第4課 这是什么？ (これは何ですか)	疑問詞 ～は何ですか ～は誰ですか 指示語	～是什么？ shì shén me? ～是谁？ shì shéi? 这 zhè (これ), 那 nà (あれ)	・授業中の態度 ・ペアワーク ・提出物 ・小テスト
12	第5課 你今年多大？ (あなたは今年何歳ですか)	年齢の聞き方 年の表現  10以上の数の数え方	相手が年長者か年少者か 前年 qián nián (おとし) 明年 míng nián (来年)	・授業中の態度 ・ペアワーク ・提出物 ・小テスト

12		第2学期期末考査	考査期間内実施	
1	総復習	4月からの復習	中国語による簡単なスピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・ペアワーク</li> <li>・提出物</li> <li>・小テスト</li> </ul>

### 3 評価の観点

知識・技能	中国語の基本的な発音と文法構造を理解しているか。 言語の背景にある文化などを理解しているか。
思考・判断・表現	中国語を聞いたり読んだりして得た情報で、話したり書いたりして考えなどを相手に伝えているか。 中国語を聞いたり読んだりして得た知識や技能を使って自分の考えなどを表現しようとしているか。
主体的に学習に取り組む態度	間違いを恐れず、積極的に授業に参加し、自発的に応答したり、質問したりしているか。 真摯な態度で授業に取り組んでいるか。

### 4 評価の方法

定期考査、小テスト、授業中の参加態度、出席状況、提出物の期限が守られているか、発表などをもとに、3観点から評価規準に従い総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>この授業では、中国語を習得するためにまず発音の学習に多くの時間を割きます。また、中国語特有の発音や語順を身につける必要があります。授業で習った内容はきちんと復習しましょう。</p> <p>皆さんはこれまで「漢文」という「中国の古典」を学習してきました。これからはそれを「中国語」＝「外国語」という観点から学習します。</p> <p>日本の文化に大きな影響を与えた中国語・中国文化を、中国語を通して学習しましょう。</p>
---

令和8年度 国際教養科 「 スペインの言語文化 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科 3年8組 選択者
教科書	聴ける！読める！書ける！話せる！ スペイン語 初歩の初歩 音声DL版（高橋書店）	副教材等	

1 学習の到達目標

スペイン語の音声や表現、およびその背景にある文化に対する理解を深めるとともに、日常的な話題についてカタコトでもスペイン語できれば、地元の人とコミュニケーションをとる力を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	スペイン語の基本ルール	スペイン語の読み方を覚えてあいさつをする	アルファベット、数をあらわす、あいさつ、会話、発音 あいさつ、会話、発音	授業内の取り組み パフォーマンステスト
	5		名前や出身地について話をする	スペルおよび文法 発音の練習、スピーキングテスト	課題
			動詞を使って毎日の生活の話をする 授業内考査	動詞、場所を表す言葉 会話、作文、文法テスト	読解、語彙や文法等
	6	通じればOKカタコトフレーズ	簡単なフレーズ	出会いのあいさつ 別れのあいさつ	授業内の取り組み パフォーマンステスト
	7		ひとこと質問表現	いろいろと尋ねる	課題
			ひとこと感嘆表現 授業内考査	驚き／喜びを表す 会話、文法テスト	読解、語彙や文法等
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	マスターしたい基本フレーズ	動詞を使って毎日の生活の話をする	ser, estar, haber, ir, tener, querer, etc. 聴解、授業中の作文	授業内の取り組み パフォーマンステスト 課題
	10		疑問	donde, que, quien, como.	
			授業内考査		読解、語彙や文法等

第2学期	11	旅で使える場面 フレーズ	交通	動詞、会話	授業内の取り組み  パフォーマンステスト  課題
	12		宿泊	新しい語彙、文化	
			観光		
			宿泊	動詞、体で覚えるゲーム	
			道順や料理の作り方を教え合う	文法、作文テスト	
			授業内考査		読解、語彙や文法等
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	旅で使える場面 フレーズ	食事	バル・カフェでの会話	授業内の取り組み  パフォーマンステスト  課題
	2		病気のトラブル	レストランでの会話	
				病院・薬局での会話	
3		授業内考査		読解、語彙や文法等	

### 3 評価の観点

知識・技能	学習した語彙、文型や文化的な内容を理解し、積極的に使おうとしているか。
思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたことの内容を理解し、自分の考えを適切な表現で伝えることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業に前向きに取り組む努力を続けているか。積極的にスペイン語を使ってコミュニケーションを取ろうとしているか。

### 4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

スペイン語を学ぶことによって21カ国の文化、伝統、スポーツ、音楽、ダンス、政治、芸術、暮らし、食事、文化を知ることができます。楽しくスペイン語を学びましょう。